



第1回 地域の将来像策定懇談会を開催しました！

- 地域の将来像策定懇談会が、3つのモデル地区で始まりました。
- この取組は、令和4年8月から令和5年2月までの全6回の懇談会を通して、各地区内の住民のみなさんが共感でき参画したくなるような、自分たちの「地域の将来像」を、対話を通じて楽しみながらつくりあげていくことを目指しています。

- 第1回懇談会は、以下のような内容で行いました。

1. 開会・ガイダンス
2. アイスブレイク（自己紹介）
3. オリエンテーション
4. ミニレクチャー
『バックカastingで考えるコミュニティの未来』
講師：吉村 輝彦さん（日本福祉大学 国際福祉開発学部 教授）
5. 10年後の自分の理想の暮らしを思い描く
■『10年後、私はこのコミュニティで、こんな暮らしがしたい』を表現



- ミニレクチャーでは、全国各地の個性豊かなまちづくりビジョンなどの事例紹介があり、コミュニティの将来像を創るうえでイメージを膨らませることができました。
- 地域の将来像を「自分ごと」として考えられるように、参加者自身の10年後の理想とするまちの姿についてシートに書き出し、メンバーで共有しました。

(1) 渡内コミュニティ

- 渡内コミュニティは、8月26日（金）午後7時から午後9時まで、渡内公民館で開催し、40代から80代までの計13名が参加しました。
- 「ママ友とゆっくりできる場所があるといい」や、「高齢者と子どもが楽しくイベントを開催している。」、「誰もが集える、また相談できる場所がある」、「歩いて行けるとところにボーッと本が読めるスペースがほしい」といったような10年後をイメージする人がいました。



渡内の10年後の暮らし（キーワード）

ママ友とゆっくり	家族と過ごす	手軽に運動
ひ孫と祭り	地域の子ども	健康・行動力
農業・野菜	本が読める	複合施設
楽しくイベント	悠々自適	近所で助け合い

(2) 富木島ふれあいコミュニティ

- 富木島ふれあいコミュニティは、8月27日(土)午後7時から午後9時まで、加木屋コミュニティセンターで加木屋コミュニティと合同開催し、30代から60代までの計9名が参加しました。
- 10年後のイメージでは、「のんびり空が見えるおしゃれなお店で仲間とお酒が飲みたい」や、「高校生になる息子と夏祭りに一緒に行きたい」、「お年寄りと子どもたちが自然とふれあえる場、年齢問わず集まる場がある」といったような場面が想像されていました。



富木島の10年後の暮らし (キーワード)

息子と夏祭り	子ども・お年寄	自然とふれあう
おしゃれなお店	仲間と酒	和気あいあい
集まれる場	若いお母さん	相談相手
悠々自適	心の拠り所	楽しく散歩



(3) 加木屋コミュニティ

- 加木屋コミュニティは、8月27日(土)午後7時から午後9時まで、加木屋コミュニティセンターで、富木島ふれあいコミュニティと合同開催し、30代から70代までの計14名が参加しました。



- 「小学校の子どもたちが学校生活の中で地域の高齢者の方とふれあえる場」や、「新駅まわりの空き地や鉢で四季の草木を咲かせ、花々を見ながら散歩を楽しむ」、「食べ歩き、飲み歩き、たまにスポーツ」といったような10年後をイメージする人がいました。



加木屋の10年後の暮らし (キーワード)

健康	ゴルフ記録更新	食べ飲み歩き
子どもと高齢者	庭・畑づくり	多世代交流
明るく元気	趣味を充実	友だちの輪
ダンスを継続	自然を保全	散歩を楽しむ

第2回懇談会は、10年後のコミュニティをテーマに話し合いをします！！

【次回の予定】

渡内コミュニティ (9月30日(金)午後7時~9時@渡内公民館)
 富木島ふれあいコミュニティ (10月15日(土)午後5時~7時@富木島公民館)
 加木屋コミュニティ (9月24日(土)午後7時~9時@加木屋コミュニティセンター)

連絡先：東海市市民協働課 電話：052-603-2211 Email：chiiki@city.tokai.lg.jp
 0562-33-1111 (内線152)